

被災農家支援思い込め

ボランティアが綿花植栽

東松島

綿花栽培などを通じ、東日本大震災の被災農家を支援する「東北コットンプロジェクト」の苗植え作業が5月26日、東松島市大塩の

東松島農場であった。趣旨に賛同する仙台市や東京都の企業7社などから約100人のボランティアが参加。約60坪の畑で、黒

いビニールをかぶせた土の上に約10坪の苗を植え付け

た。
日本フットサルリーグ（Fリーグ）のヴォスコオーレ仙台の9選手はユニホーム姿で参加した。フロントスタッフの中島千博さん（31）は「震災で被災した選手もおり、地域の復興に思い入れがある。チーム一丸で一先懸命、苗を植えた」と汗を拭いた。

東松島農場は美里町の農業生産法人イーストファームみやぎ（赤坂芳則代表）が運営。11月下旬に約350坪の綿の収穫を見込む。

同プロジェクトは被災農地の再生と雇用創出などを目的に2011年7月に発足。イーストファームなど県内3カ所の農場で綿花を栽培し、17年は綿約1・3トンを収穫した。安定した製品化と販売を目指す。



綿花の苗をシャベルで丁寧に植え付ける参加者